

教育目標「進んではげむ、心ゆたかな生徒」

令和3年10月5日 第13号

2 0254-22-3824

1 0254-26-3543

創立50周年記念全校遠足を実施しました

特別活動部

9月29日(水)当初、予定されていた、新発田市中体連新人戦は感染症拡大防止のため中止となりました。そこで、春、残念ながら悪天候のため実施できなかった、全校遠足を実施しました。新人戦が中止となり、がっかりした生徒も、気持ちを切り替えて、それぞれめあてをもって取り組むことができました。

コースは、東中から、サイクリングロードを終 点の中々山まで往復しました。秋晴れの中、五十 公野地区、米倉地区の素晴らしい風景を満喫しな



<素晴らしい自然の中を歩きました>

がら歩くことができました。また、朝は交通量が多いため、五十公野駐在所の馬場駐在さんが、 セブンイレブンの交差点に立ってくださいました。コース上のトイレやチェックポイント等は、 それぞれの区長さん方が、きれいに整備してくださいました。「がんばって」と声をかけてくださ る地域の方も多く、生徒たちは多くの地域の方から見守られていることを実感できました。

「もうすぐチェックポイントだよ」「あと少しだよ」。グループの中で、励まし合う声もよく聞こえていました。同じグループでも体力差があり、歩きにくい面もあったようですが、お互いを尊重する気持ちも持つことができたようです。

少し残念だったのは、距離が短くなったこと(約20km)と、PTAの参加ができなかったことです。来年度はぜひ、今回行けなかった松浦地区をまわって、長い距離に挑戦したいと思います。



<1年生から出発>

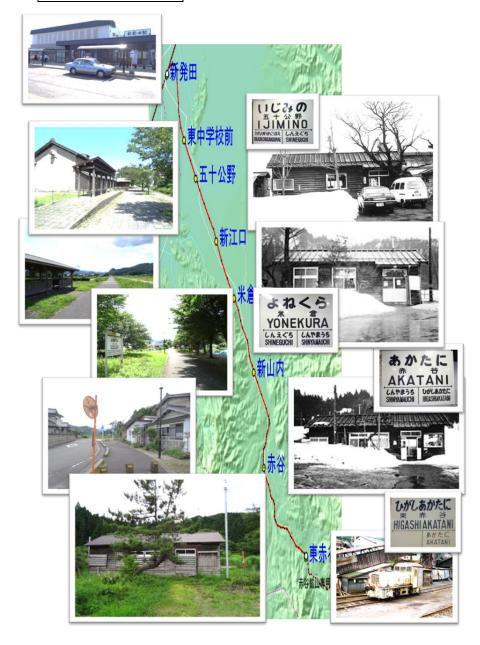


くまだまだ元気>



<米倉CP通過>

赤谷線、今、むかし





<中々山を折り返し>



<ゴールを目指せ!>



<帰路の米倉で休憩>



<ゴール!お疲れ様でした>

東中学校前仮乗降場

1973年(昭和48年)に、新発田市内赤谷線沿線の赤谷・米倉・五十公野・松浦の4中学校を統合し、新たに東中学校を設立。その通学の便を図るために開設された仮乗降場である。※駅名としては載っていない。



当時の駅舎(プレハブ)は、現在、県道「東中学前」 バス停となっている。





10月30日(土)に、創立50周年記念式典、及び創立50周年記念音楽祭を行います。コロナ禍の中であり、盛大に行うことは控えさせていただきますが、市長 二階堂馨様、教育長 工藤ひとし様、14代校長 熊谷重雄様、15代校長 船山誠様、等の限られたご来賓をお呼びして実施いたします。また音楽祭については、昨年同様にご自分のお子さんの学年の時のみの入場となり、保護者の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

実行委員と、当日の流れについてお知らせします。

く実行委員>

実行委員長 大沼 克志 後援会長 副実行委員長 湯浅 佐太郎 同窓会長

石木 裕一 PTA会長

新保 英博 校長

実行委員 若月 学 同窓会副会長

富樫 康雄 後援会副会長 五十公野地区区長会

加藤 清夫 後援会副会長 松浦地区区長会 齋藤 盛一 後援会副会長 米倉地区区長会

小柴 喜伊智 後援会副会長 赤谷地区区長会

 渋谷
 正弘
 PTA副会長

 若月
 由紀
 PTA副会長

本間 勇 教務主任(記念式典担当)

羽田 令子 1 学年主任(記念DVD作成担当)

小林 寿 2 学年主任(記念講演会担当)

本間 誠道 3学年主任(記念パンフレット作成担当)

中村 康子 主査(記念品作成担当)

小野 俊巳 教頭(事務局)

<式典当日の日程>

1 アトラクション ~吹奏楽部記念コンサート~ 8:50~9:20 吹奏楽部の保護者の方のみ、ギャラリーより鑑賞いただけます。

2 創立 50 周年記念式典 9:20~10:00

3 創立 50 周年記念音楽祭 10:10~12:10 詳細については、音楽祭案内 (HPにも乗せてあります)、プログラム等で確認ください。

※ YouTube 生配信予定です。視聴方法は体育祭と同様です。よろしくお願いします。

3学年は、修学旅行が中止になった代替え行事として、9月15日(水)に、学年行事「サントピアワールド」を実施しました。何とか思い出になる行事を実施したいと、PTAと打ち合わせを繰り返し、定期テスト翌日のこの日に実施しました。

水曜日は、もともと閉園日ということで、ほとんど貸し切り状態の中、目一杯楽しむことができました。日帰りの実施でしたが、帰りのバスの中は、遊び疲れの様子もみられました。

新潟交通にも尽力いただき、バス代が半額になった上に、3千円のお買い物クーポン券付ということで、格安に実施することができました。











○ タブレットの持ち帰りについて

生徒指導部

先日より、タブレットの持ち帰りをスタートさせました。今後の活用については、教育委員会や市内の学校と連携を取りながら、進めて参ります。登下校中には使わない、個別にメッセージのやりとりはしないなど、タブレットの使い方については、学校でも繰り返し指導しています。

家庭での使い方についてよく見ていただき、生徒の倫理観を育て、誰もが便利に、気持ちよく 使えるよう、指導していただければと思います。

ご協力をよろしくお願いします。